



けんせつサポート

ごきげんよう、皆さん
ピートです



けんサポ Center News 第58号 2026年3月

Contents

- センターの仕事① インフラマネジメントセンター (P 1)
- センターの仕事② 建設ICT人材育成センター (P 2)
- センターの仕事③ 品質管理室 (P 2)
- お知らせ
 - ・岐阜県自然共生工法研究会活動報告 (P 3)
 - ・令和8年度研修計画 (P 4)

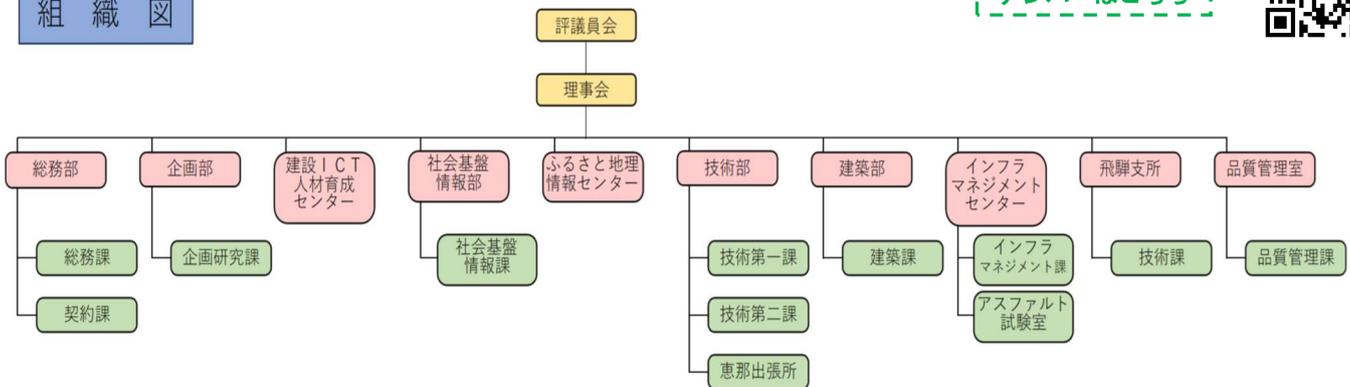
「けんサポ」をお読みいただき、ありがとうございます。今号も建設研究センターの仕事についてご紹介させていただきます。

今号では、「インフラマネジメントセンター」、「建設ICT人材育成センター」及び「品質管理室」についてご紹介いたします。これまでにご紹介した部署については、センターホームページにてご覧いただけます。(けんサポ「第56号」・「第57号」)

「けんサポ」バック
ナンバーはこちら



組織図



○センターの仕事① ～インフラマネジメントセンター～ (窓口) 058-277-1134

橋梁維持管理業務を支援

インフラマネジメントセンターでは、主に橋梁や舗装といったインフラ施設の維持管理に関する専門的な支援を行っています。具体的には次のとおりです。

1 橋梁点検 (地域一括発注)

人的支援や技術支援を必要とする市町村に対し、複数の市町村の橋梁点検を包括発注する「地域一括発注」方式により、法定点検を支援しています。

2 橋梁補修工事積算・現場監理業務

・包括的な支援

橋梁補修工事では、特殊な工法が多く市町村の負担が大きいため、センターの長年培ったノウハウを生かし、積算から工事発注後の現場監理、完成検査まで一元的に支援しています。

・小規模橋梁補修の総合支援業務

高額な補修設計費用に苦慮する市町村向けに、簡易な補修を対象に、既存の設計ストックを活用した設計図作成、工事積算、発注後の起工測量結果に基づく変更積算までを一括で支援しています。



橋梁点検車を用いた市道橋の点検

人材育成・技術力向上に寄与する

建設 ICT人材育成センターでは、岐阜県内の建設関連の技術職員の技術力向上、将来の県土づくりを支える人材の育成・確保及び建設現場の生産性向上を目的に、多彩なプログラムを企画し、各種事業を推進しています。

1 建設技術職員研修（県・市町村職員向け）

行政職員を対象に、基礎知識から建設 ICT 等の専門技術まで、段階的な研修を実施しています。

【令和 7 年度実績】 38 回開催／延べ 991 名受講

「土木初任者」「発注・監督業務の基礎」のほか、実践的な「災害復旧」「橋梁点検」研修等を通じ、即戦力となる行政職員の育成に寄与しました。

2 建設業担い手育成事業（建設関連企業向け）

企業の経営力強化と、生産性向上に直結する ICT 技術の習得を支援しています。

【令和 7 年度実績】 40 回開催／延べ 922 名受講

経営者向けの「人材育成・定着」セミナーや、技術者向けの「工程管理」「3次元設計データ作成」研修等、現場のニーズに応えるカリキュラムを提供しました。

3 建設業担い手確保事業（建設業の魅力発信、新規入職者・定着支援）

建設業の重要性や魅力を広く発信し、新規入職者の確保と職場定着を促進するための事業を展開しています。

【令和 7 年度実績】 20 回開催／延べ 1,321 名参加

「親子の土木見学ツアー」や中学生向け「ICT 体験学習」で次世代へ魅力を伝えただけでなく「建設業初任者」研修により若手の定着をサポートしました。



「3次元設計データ作成」研修の様子

○センターの仕事③ ～品質管理室～

センター業務の確かな品質を確保

品質管理室は、センターが実施する設計、積算、現場管理、橋梁点検などの品質を確保するために必要なチェック体制を整備し、各種支援事業のサービスの向上に努めています。具体的には次のとおりです。

1 チェック体制の確立

センターが実施する業務（設計、積算、現場管理、橋梁点検など）の品質を確保するため、次の 4 段階の業務体制を確立し運用しています。この体制により、「ミスが起こりにくくする」「ミスをすぐに発見できる」ことを目指します。

- ① 管理技術者、および担当者によるチェック。
- ② 照査技術者による照査。
- ③ 業務関係者に所属長等を加えた設計レビュー。
- ④ 品質管理室による納入検査。

2 職員研修の実施

センターの若手職員が積算、現場管理、点検などの業務を早く理解できるように、積算や土木一般についての教育や、測量士補、施工管理技士、技術士補など業務関連資格の取得に向けた内部職員研修を実施しています。また、来年度からは、市町村土木系若手職員の技術力の向上と人脈の形成を目的とした土木技術研修の開催を予定しております。

「女性優先現地見学会」を開催しました。

公園や庭から出た枝葉（植物発生材）の資源活用や処理経費削減などで注目されている「バイオネスト」を導入されている木曾三川公園138タワーパーク（愛知県一宮市）を訪ねました。担当の方からの講義を受け、また、公園内に設置されているバイオネストの効果を現地で確認しました。その効果は、土壌改善や生物多様性向上、さらには防災・減災（土砂流出防止）など、環境保全や持続可能な公園・緑地管理に多くの効果があることを学びました。枝葉は「宝物」でした。

この取組は、植物発生材をその場で活用することから、焼却によるCO₂や搬出に伴う排気ガスが抑制され地球温暖化防止にもつながります。最後は、直径3m程度のバイオネストを全員で作成しました。小さな取組かもしれませんが、環境問題を考えるうえで大変有意義な機会を得られました。公園を訪れる楽しみも増えました。

堆肥化が確認できました

<バイオネスト>

バイオネストとは、「バイオ（生命）」と「ネスト（巣）」を組み合わせ合わせた造語で、公園や庭で出た剪定枝や落ち葉を「鳥の巣」のように組み合わせることで、自然素材の堆肥枠（コンポスト）のことです。ごみとして処理せずにその場で土に還し、微生物や生き物の力で堆肥化（腐葉土化）を促します。

- 開催日 令和7年12月17日（水）
- 開催場所 木曾三川公園138タワーパーク
北派川モデル河川実験場
- 参加者数 14名



1～2年後が楽しみです



「岐阜県自然共生川づくり勉強会」を開催しました。

リニア中央新幹線岐阜県駅（仮称）の近くを流れる「一級河川千旦林川（せんだんばやしがわ）」における「多段式落差工」について学びました。多段式落差工とは、自然石を連結した市販製品ブロックを用い、複数の落差工を適切に組み合わせることで、魚の遡上を助け、自然環境や景観と調和させながら、河床の安定化を図る、多自然川づくりで用いられる工法です。

千旦林川では、蛇行部の直線化工事による、①生態系への影響、②流速増加に伴う河床変動、③景観の悪化に配慮するため、多段式落差工が用いられました。特に生態系への影響に関しては、複数年にわたる魚種の調査を踏まえ、遡上に影響しない構造が必要であることから、当該工法が適しており採用に至りました。

千旦林川一帯は、今後、リニア新駅の整備に合わせた地元中津川市による「かわまちづくり事業」によって親水公園として整備され、地元住民や来訪者が憩える場・賑わいの場づくりが進められます。

- 開催日 令和8年1月19日（月）
- 開催場所 千旦林川（中津川市）
- 参加者数 38名



千旦林川の多段式落差工について学ぶ



募集案内はこちら

会員募集中

岐阜県自然共生工法研究会では、会員を募集しています。

現在約1,300名の方が会員となり、水と緑あふれる自然豊かな岐阜県の風土を引き継いでいくため、産学民官様々な立場の知見を活かし情報共有しながら活動しています。自然共生工法の発展を共に！



○お知らせ 令和8年度研修計画

(窓口) 建設ICT人材育成センター
0584-71-7001

令和8年度に建設ICT人材育成センターが実施する研修についてお知らせします。同年度も、新規を含め多くの研修を計画しました。デスクから気軽に参加できるWEB研修も充実しています。

自治体の皆様、企業の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。詳細が決まり次第、ホームページやメールでお知らせします。(なお、開催月や研修名については変更する場合があります。)

県・市町村等職員研修

開催月	研修名	開催月	研修名	開催月	研修名
4月	土木行政初任者研修	6月	歩掛・積算(用地)	8月	都市政策2
4月	AutoCAD	6月	発注・監督業務の基礎【WEB】	8月	入札制度【WEB】
4月	JW-CAD(基礎)	6月	危機管理	8月	土木基礎
4月	JW-CAD(活用)	6月	構造物の設計と管理	9月	舗装
5月	武蔵CAD(第1回)	6月	植栽	9月	安全管理
5月	武蔵CAD(第2回)	6月	NEW 生成AI活用力向上	9月	住民対応力向上
5月	歩掛・積算(第1回)	7月	道路	10月	現場見学会(都市計画事業)
5月	歩掛・積算(第2回)	7月	河川	10月	ドローン操作
5月	災害復旧(第1回)	7月	都市政策1【WEB】	10月	水中ドローン操作
5月	災害復旧(第2回)	7月	下水道	10月	測量
6月	土砂災害対策	7月	建設ICTの発注と監督	11月	橋梁点検
6月	歩掛・積算(第3回)	7月	地質調査		

建設業担い手育成研修

開催月	研修名	開催月	研修名	開催月	研修名
5月	初任者研修(ビジネスマナー等)	6月	3次元設計データ作成(東濃)	8月	品質管理力向上【WEB】
5月	初任者研修(建設業専門知識等)	6月	BIM/CIM	8月	設計品質向上【WEB】
5月	OJT担当者研修【WEB】	6月	現場管理基礎【WEB】	8月	工事成績評定アップ【WEB】
5月	ドローン操作 初級編	7月	NEW 建設DXの実践(中級編)	8月	働き方改革(導入)【WEB】
5月	ドローン操作 中級編	7月	建設ICT普及研修(概要、事例紹介)	8月	Z世代に対する企業の魅力発信
5月	3次元設計データ作成(岐阜西濃1)	7月	3次元設計データ作成(飛騨)	9月	ICTによる現場業務効率化【WEB】
5月	コミュニケーション基礎	7月	3次元測量	9月	安全管理力向上
6月	ICT土エー括研修	7月	工事書類作成基礎【WEB】	9月	NEW 働き方改革(推進)【WEB】
6月	建設DXの実践(初級編)	7月	施工計画力向上【WEB】	9月	女性技術者の活躍
6月	3次元設計データ作成(岐阜西濃2)	7月	交渉能力向上【WEB】	未定	伴走支援型建設ICT活用研修(県内5圏域)
6月	3次元設計データ作成(中濃)	7月	建設人材の育成と定着		

一般の方向け魅力発信ツアー

開催月	研修名
11月	小・中学生の親子土木ツアー

○編集後記

今年度も残りわずかとなりました。官公庁では定期人事異動の時期。異動内示が出るまでは、そわそわ、ドキドキ、あるいは期待に胸を膨らませている頃でしょうか。一方、民間企業の皆様、特に3月決算の会社におかれましては、目が回るような忙しさかと推察いたします。当センターも4月からは、皆様と同じく新たな気持ちでスタートを切る準備を進めておりますが、行動指針に掲げる「高度な技術 丁寧な対応 確かな信頼」を胸に、引き続き支援業務に邁進してまいります。

建設業を取り巻く環境は、人材不足や資材高騰、技術継承、デジタル格差など依然として課題は山積しています。センターとしても、これらの課題解決の一助となれるよう、皆様のご要望を汲み取りながら、一歩ずつ共に歩みを進めてまいりたいと考えております。

